

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

001	事業名	男女共同参画セミナー等の開催	課所	男女共同参画支援センター	事業費	51,426円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。			男女共同参画に関する講座や講演会等を年1回程度開催する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 「誰一人取り残さない」という理念を掲げるSDGsについて学び、一人ひとりができることを考える「ウィズコロナの今、私たちの暮らしから考えるSDGs(持続可能な開発目標)」を講座+学習会の形式で実施した。①講座 10/11「カードゲームでSDGsを学ぼう!—SDGs達成はジェンダー平等から」、②学習会 10/21・10/29「身近な社会問題からSDGsを考える—SDGsと新型コロナ」						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
参加率			満足度			
<目標> 80 % <実績> 100 %			<目標> 80 % <実績> 97 %			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
参加人数:36人(女性25人、男性11人) 募集人数:30人 学習会参加人数:9人(女性6人、男性3人)			「自分の置かれている状況や社会的要因にとても重なり合って勉強になった」「SDGsの『誰も取り残さない』の理念がよくわかった」などの感想があった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			講座では、参加型のカードゲームを通じて、SDGsの目標達成には包括的・総合的に取り組む必要があること、一人ひとりの行動が起点になることを伝えることができた。講座修了者による2回の学習会では、身近な社会問題からSDGsを検証し、一人ひとりが「自分ごと」として行動につなげるための考えを深めることができた。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に事業を実施する。			

002	事業名	男女共同参画情報誌の発行	課所	男女共同参画支援センター	事業費	490,460円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
市民に、男女共同参画に関する情報をわかりやすく発信することで、意識啓発、理解促進を図る。			年2回定期的に男女共同参画情報誌を発行する。毎回テーマを定めた特集を掲載する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 情報誌「みてみてほっと越谷」を発行・配布した。第47号(7/1発行)のテーマは「生きづらさを抱える子どもたち～あなたは一人じゃない～」で、居場所のない困難を抱える子どもたちへの支援について考えた。第48号(2/1発行)のテーマは「未来はわたしたちが変える—SDGs(持続可能な開発目標)」で、SDGsについて理解を深め、「自分ごと」として行動につなげることを訴えた。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
発行部数			達成度			
<目標> 26,000 部 <実績> 26,000 部			<目標> <実績>			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)			
第47号:13,000部、第48号:13,000部			市の施設などで配布するほか、自治会の回覧やホームページへの掲載など、より多くの市民に届けられるような工夫を行った。第47号には「生きづらさを抱えていても『助けて』と声を上げられない子どもたちがいることがわかった」という感想があった。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)			今年度は「子どもの生きづらさ」と「SDGs」のテーマを取り上げたが、いずれの号も寄稿による記事と実際に支援や活動を行う団体・個人の紹介という構成にした。越谷市内をはじめとする実際の支援者や活動を紹介することで、それまで見えにくかった存在や社会的課題が身近にあるものとして、よりわかりやすく伝えることができた。			
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に事業を実施する。			

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5 (十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分): 目標値の60%未満

003	事業名	男女共同参画情報を選択・判断する力を育成する事業の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 30,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
インターネット、スマートフォンなど多様化するメディアから発信されるジェンダー(社会的・文化的に作られた性差)に関する情報をうのみにせず、主体的に読み解き、活用する能力を高める。		メディアから発信される情報を選び取る力、見極める力を養うための講座の開催やパネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 データや国際比較からメディアの現状と問題点を解説、男性中心的なメディア構造に気づきメディアのあり方を考えたとともに、さまざまなメディアから発信される情報を評価・識別し、選び取る力の重要性を伝える講座を実施した。9/5「メディアは誰のものか～<みんな>のためのジャーナリズムを考える～」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:25人(女性15人、男性10人) 募集人数:20人		「情報化社会で生きている私たちはネットを使ってものを調べたり、情報を取り入れているが、しっかりと自分で見極める必要があると思った」「当たり前を疑い、よい答えを求める新聞やメディアの内容と特徴など、今後の情報を得るのに役立つ」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		「市民のニュースへの無関心」がメディアのあり方と無関係ではなく、何よりもメディアリテラシーが重要であることを伝えることができた。「困っている私の声を共有する」「取り残された人々の声を伝える」という「ケアのジャーナリズム」を紹介し、メディアの果たすべき役割についても問題提起することができた。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

004	事業名	男女共同参画推進のためのパネル展示等の実施	課所 事業費	男女共同参画支援センター 25,700円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		国の男女共同参画週間等に合わせて、パネル展示等を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①6/19～7/3男女共同参画週間(本庁舎1階ロビー)②10/11～10/29新型コロナとSDGs③11/6～11/18LGBTがかかえる悩みを知ろう④12/1～12/12発見!ジェンダー⑤2/26～3/12国際女性デー(本庁舎1階ロビー)⑥2/27～3/14「女性に対する暴力をなくす運動」啓発ポスター&「ほっと越谷」の取り組み⑦3/25～3/31「情報誌からみる『ほっと越谷』の20年」				
【活動実績(活動指標)】 実施事業数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 7 回 <実績> 7 回		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
		男女共同参画の啓発や、「ほっと越谷」の実施事業に関連するさまざまなテーマのパネル展示を企画し、「ほっと越谷」や本庁舎1階ロビーに展示することにより、多くの市民に対し、男女共同参画に関する理解を深めるための情報提供ができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		「ほっと越谷」が実施する講座開催に合わせ、関連するテーマを取り上げたパネル展示を企画し開催した。男女共同参画セミナーや情報誌(第48号)のテーマに取り上げた「SDGs(持続可能な開発目標)」は、「新型コロナとSDGs」「女性とSDGs」といった多角的な視点で情報提供ができた。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

005	事業名	男女共同参画推進のための出前講座等の実施	課所	男女共同参画支援センター
	事業費			—
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を広め、男女共同参画の推進を図る。		地区センター等において、男女共同参画に関する講座、パネル展示等を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 ①7/28「仲間を見つけにきませんか?~10年先、20年先どうなっていたい?」②10/1シネマサロン「60代から輝いて生きる」③12/19「ジェンダー統計から見る越谷の現状」④1/17「人権講座『LGBT』って知っていますか?~性の多様性を理解しよう~」⑤2/6「自主防災組織リーダー養成講座」(主催:危機管理課・開催中止)				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
実施事業数				
<目標> 5 回 <実績> 4 回		<目標> <実績>		
達成度 4 (概ね達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:63人(女性60人、男性3人)		①7/28「仲間を見つけにきませんか?~10年先、20年先どうなっていたい?」では、「将来のビジョンやキャリアについて考えることができた」「それぞれが悩みを抱えて子育てしていることを実感でき、『私だけが』という不安が少し軽減された」などの感想があった。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		新型コロナウイルス感染症感染拡大により1講座が中止になったものの、地域のさまざまな関係機関・NPO・団体に出向き、男女共同参画の啓発を行うことができた。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

006	事業名	男女共同参画推進週間における事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
	事業費			0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の男女共同参画推進週間に合わせて、市民団体と協働で男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの周年事業(七夕フェスタ)を、登録団体その他の市民団体と協働で実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市の男女共同参画推進週間に合わせて、全ての「ほっと越谷」登録団体が参加する「七夕フェスタ実行委員会」との共催で、七夕フェスタを開催している。七夕フェスタのオープニングイベントと、期間中に開催する登録団体企画講座、登録団体企画展示は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止としたが、「ほっと越谷」と登録団体の活動紹介のパネル展示を市役所にて実施した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
延べ参加団体数				
<目標> 115 団体 <実績> - 団体		<目標> <実績>		
達成度 1 (未実施)		達成度 1 (未実施)		
事業の評価				
- (評価困難)		新型コロナウイルス感染症感染拡大防止により、七夕フェスタを実施できなかったため、「評価困難」とした。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5 (十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4 (概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3 (達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2 (達成は不十分): 目標値の60%未満

007	事業名	市民との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
	事業費			60,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民との協働による事業を企画実施することにより、男女共同参画に関する理解を深める。		公募した市民で構成する企画委員等との協働により、事業を実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 公募による市民企画委員(6人)との協働で、「本でつながる心とこころ～Stand by me(そばにいてね!) Stand by you(そばにいるよ!)～」をテーマに「ほっと越谷」の所蔵図書を展示・紹介する「ブックフェア」を開催した(11/12～12/13)。※参加者を募り、図書の紹介と意見交換を行う「ブックサロン」(1/24)は、緊急事態宣言下において中止と判断した。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
開催事業数				
<目標> 2 回 <実績> 1 回		<目標> <実績>		
達成度 2 (達成は不十分)		達成度 5 (十分に達成できた)		
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「ブックサロン」は中止となったが、市民企画委員の会議の中で「ほっと越谷」所蔵図書を題材としたブックサロン体験や意見交換を行い、企画委員の男女共同参画への理解が深まった。		「ブックフェア」の展示本リストや「ブックサロン」のチラシに企画委員による書評や図書の画像を掲載することで、リストやチラシを手にとった市民が「ほっと越谷」の所蔵図書に興味を持ち、実際に本を手取るきっかけになった。		
事業の評価				
B (概ね順調に取り組んでいる)		ブックフェアを通じて、企画委員が「ほっと越谷」が所蔵する男女共同参画に関する図書を紹介したり、「ほっと越谷」内での推薦図書の展示や、書評付きの展示本リストの配布だけでなく、展示本リストは「ほっと越谷」ホームページからダウンロード可能とし、広く情報提供を行うなど、市民に男女共同参画に興味を持ってもらう活動を行ったため、評価を「B」とした。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
集客を伴うサロン形式の事業が中止になっても、「ほっと越谷」の所蔵図書の紹介を切り口とした男女共同参画の理解促進に寄与する代替事業の検討や開催が必要だった。		イベント中止に備え、推薦本をまとめた情報紙の発行や「ほっと越谷」の壁面やホームページを活用した情報提供など、集客不要の非対面でも実施可能な事業も検討する。		

008	事業名	支援センター登録団体等との協働による事業の実施	課所	男女共同参画支援センター
	事業費			50,000円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民との協働による男女共同参画の推進を図る。		男女共同参画支援センターの登録団体および他の市民団体との協働により、男女共同参画に関する講座の企画、運営を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内・市外で活動する団体から男女共同参画に関連する企画を公募し、登録団体1団体・市民団体1団体による2講座の事業企画を採択した。①11/18「声を出すってこんなに大切!!認知症予防朗読プログラム体験会」②1/14・1/28「仕事・家庭・子育ての人間関係がぐっと楽になるコミュニケーション講座」※②は、緊急事態宣言により中止となった。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
協働で開催する講座数		満足度		
<目標> 6 回 <実績> 1 回		<目標> 80 % <実績> 82 %		
達成度 2 (達成は不十分)		達成度 5 (十分に達成できた)		
プレゼンテーション参加を検討していた4団体のうち、障がい者、高齢者で構成される団体がコロナ禍における健康リスクが高いことを理由に参加を断念したため、最終的に応募が2団体にとどまった。また緊急事態宣言により1講座が中止となったため、実施できたのは1講座となった。		定員20人を大きく超える応募があり、ニーズの高さがうかがえた。参加人数は27人で、満足度も80%を超えた。		
事業の評価				
C (より積極的な取り組みが必要)		新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響からか、応募団体が少なかった。担当者企画会議や講座の実施を通じて、開催団体の男女共同参画に対する理解を深めることができたことや、「ほっと越谷」の自主事業にはない、協働事業ならではの新たなテーマの講座開催による事業の幅の広がりとといった成果はあったため、評価を「C」とした。		
<R1実績> C				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により応募を見込んでいた団体が辞退したことから、応募が2団体の2講座にとどまった。募集期間が閉所期間に重なり、先行きが不透明だったことも応募者の減少につながったと思われる。応募数が少なくなるような対策が必要である。		すでに協働したことのある団体であっても、同一企画でなければ申込み可能とする等、門戸を広げる。登録団体との会議等において、事業内容や「ほっと越谷」と協働するメリット・支援について、わかりやすく伝える。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

009	事業名	所蔵図書の貸出し	課所 事業費	男女共同参画支援センター 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市民の男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画の推進を図る。		所蔵図書の貸出しを実施する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画に関する図書・行政資料などを収集し、閲覧・貸出を行った。情報誌(年2回発行)やイベント情報誌(年4回発行)に実施事業や特集記事のテーマに即した所蔵図書の書評を掲載する等、所蔵図書の紹介と利用促進を行った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
利用者数		利用者数		
<目標> 300 人 <実績> 357 人		<目標> <実績>		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
利用者:357人(女性313人、男性44人) 貸出冊数:510冊		毎月テーマを変えてブックフェアを企画・展示し、「ほっと越谷」の事業に関連する所蔵図書を紹介した。ブックフェアの図書リストは「ほっと越谷」のホームページから閲覧・ダウンロードすることができ、講座参加者が学びを深めるための情報提供のツールのひとつになっている。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		購入図書は、年4回程度、職員の会議で検討し、選定している。多くの市民が興味をもち、実際に手に取り利用していただけるように、専門書だけでなく小説やコミックエッセイなど、男女共同参画をテーマにした図書をさまざまな分野から選び、入口付近の新着図書コーナーに配架している。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

010	事業名	ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のための情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
市の各課所に、性別による固定的イメージが含まれる刊行物を作成することがないよう意識啓発を図る。		ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成のガイドラインを作成するとともに、ガイドラインに沿って刊行物が作成されているかを定期的にチェックする。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 リーフレットやチラシ、広報こしがや等、市で発行した刊行物を毎月5種類チェックし、チェック項目に該当する刊行物があった場合は、担当課所に今後の配慮をお願いしている。また、チェック結果を3ヶ月に1回掲示板で報告することで、全庁的に作成時の注意喚起を図った。				
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】		
チェックした刊行物の数		注意を喚起した刊行物の数		
<目標> 60 種類 <実績> 60 種類		<目標> 0 種類 <実績> 2 種類		
達成度 5 (十分に達成できた)		達成度 5 (十分に達成できた)		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		リーフレットやチラシの作成の際にいくつかの課からアドバイスを求められるなど、ジェンダーの視点を踏まえた刊行物作成に対する意識が高まっていると思われる。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今度も適切に事業を実施する。		

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり

施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚

取り組みの方向 (1) 広報・啓発の拡充

【数値目標が設定されている場合の達成度】
(※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)

5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
2(達成は不十分): 目標値の60%未満

011	事業名	市民への男女共同参画苦情処理委員の周知	課所	人権・男女共同参画推進課	事業費	—
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男女共同参画の推進に関する市の施策や、男女共同参画の推進を妨げる事案に対して、市民が必要なときにいつでも苦情の申し出ができるように、苦情処理委員の周知を図る。			広報紙やホームページに男女共同参画苦情処理委員の情報を掲載するほか、随時チラシ等も用いて苦情処理委員の周知を行う。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 年間を通じてPRリーフレットを市の施設に設置するほか、ホームページでも制度を紹介している。また、広報こしがや、ほっと越谷の情報誌「みてみてほっと越谷」に制度を紹介する記事を記載するほか、新成人に制度を紹介するチラシを配付した。						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
広報紙やホームページ等でPRする回数						
<目標> 3 回 <実績> 3 回			<目標> <実績>			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)			
①広報こしがや(1月号)②「みてみてほっと越谷」48号(2月)③新成人にPRチラシの配付			さまざまな媒体や機会を利用し、男女共同参画苦情処理制度について広く周知を図ることができた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
令和元年度に引き続き、令和2年度は苦情の申し出がなかったが、男女共同参画に関する人権侵害等の事案は未だ存在していると思われるため、今後も積極的に制度の周知を行っていく必要がある。			今後も積極的に周知を行う。			

012	事業名	職員に対する男女共同参画の啓発	課所	人事課	事業費	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段			
男女がともに能力を発揮できる職場環境を形成するため、男女共同参画に関する研修を実施することにより市職員の理解を深め、意識啓発を図る。			男女共同参画に関する研修を実施する。			
事業の実施内容と成果						
【実施内容】 新採用職員及び監督職員(主幹級)を対象に、男女共同参画に係る研修を実施した。(新採用職員研修は8/5に実施、監督職員(主幹級)研修は10/21に実施)						
【活動実績(活動指標)】			【取り組みの成果(成果指標)】			
男女共同参画に関する研修の受講者数			理解度			
<目標> 1 人 <実績> 162 人			<目標> 100 % <実績> 86.1 %			
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 4 (概ね達成できた)			
①新採用職員研修(4/1付採用): 男性47人、女性62人 ②監督職員(主幹級)研修: 男性25人、女性28人			人権・男女共同参画推進課職員を講師に「男女共同参画の意義や取り巻く環境」について講義を実施。研修後の受講者アンケートでは、「理解できた」「概ね理解できた」や「今後の業務の参考になる」との回答が多数を占めた。			
事業の評価						
A (順調に取り組んでいる)						
<R1実績> A						
認識した課題			課題解決に向けた対応			
特になし。			今後も適切に事業を実施する。			

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (2) 男女共同参画に関する調査・研究の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一歩): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

013	事業名 男女共同参画に関する情報収集と調査研究	課所 人権・男女共同参画推進課	事業費 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段	
男女共同参画に関する企画・立案や事業実施に参考となる情報の収集と調査研究を行い、効果的な施策の推進を図る。		情報誌、インターネット、セミナー等を通じて、男女共同参画に関する情報の収集と調査研究を行う。	
事業の実施内容と成果			
【実施内容】 男女共同参画に関するセミナー等に参加して情報収集したほか、市政世論調査による市民の意識調査などを行い、それらを基に年次報告書やホームページなどで男女共同参画に関する統計や解説資料を公表した。			
【活動実績(活動指標)】		【取り組みの成果(成果指標)】	
セミナー等への参加回数			
＜目標＞	- 回	＜実績＞	15 回
達成度	4 (概ね達成できた)	達成度	4 (概ね達成できた)
女性の活躍促進、DV対策、LGBTなどに関するセミナー等に参加した。 (新型コロナウイルス感染症感染拡大防止によるオンライン講座を含む)		収集したデータや情報などを「男女共同参画に関する年次報告書」やホームページ、庁内LANに掲載するなど、庁内外に分かりやすい形にして、フィードバックすることができた。	
事業の評価			
B (概ね順調に取り組んでいる)			
＜R1実績＞ B			
認識した課題		課題解決に向けた対応	
男女共同参画を効果的に推進するためには、最新の動向や市民の意識を常に把握し、施策に反映させる必要がある。		今後も情報収集、調査研究を積極的に行う。	

基本目標 I 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 1 男女共同参画意識の高揚
 取り組みの方向 (3) 国際的な動向を考慮した意識づくり

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

014	事業名	国際的な動向についての情報提供	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の取り組みは国際的な動向と密接に連動しているため、国際的な動向についての情報を市民に提供し、男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		男女共同参画に関する国際的な動向について、情報提供を行う。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女間の格差を示す国際的指数である「ジェンダー・ギャップ指数」と「SDGs」の2つをテーマにして世界と日本の現状について、男女共同参画支援センター「ほっと越谷」と連携して、市役所ロビーでパネル展を開催した。(2/26～3/12)				
【活動実績(活動指標)】 情報提供の実施回数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 1 回 <実績> 1 回 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
		市民に対して、世界の国々と日本の男女共同参画について考えてもらう機会を提供することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)		今後も国際女性デー(3月8日)の前後を中心に、国際的な男女共同参画の動向に関する情報提供を実施する。		
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

015	事業名	保護者に向けた啓発資料の配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
家庭で男女共同参画の視点に基づいた教育が行われるよう、保護者に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。		保育所(4歳クラス)、小学校3年生、中学校1年生の子を持つ保護者全員に男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 市内の幼稚園及び公立・私立の保育所の4歳児クラス、小学校3年生、中学校1年生の保護者全員に家庭での男女共同参画に関するリーフレットを作成し、配付した。(9,700部)				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配付数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 9,700 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
4歳児クラス3,440部、小学校3年生3,125部、中学校1年生3,135部		対象となる全ての保護者に配付することができ、保護者の男女共同参画の意識啓発を図ることができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

016	事業名	教職員に向けた啓発資料の配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課 0円
男女共同参画の視点からの事業目的		手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員の男女共同参画に関する理解をさらに深める。		市立の小中学校教職員全員に、男女共同参画意識の啓発資料を配付する。		
事業の実施内容と成果				
【実施内容】 男女共同参画意識の啓発資料を作成し、市内の小中学校教職員全員に配布した。				
【活動実績(活動指標)】 啓発資料の配付数		【取り組みの成果(成果指標)】		
<目標> 一 部 <実績> 1,502 部 達成度 5 (十分に達成できた)		<目標> <実績> 達成度 4 (概ね達成できた)		
令和元年度に引き続き、より現場の教職員に沿ったものとなるよう、教育における男女共同参画やDVがおよぼす子どもへの影響について、市政世論調査等のデータを用いることで、分かりやすい紙面づくりを心がけた。		対象となる教職員全員に配付でき、教職員への男女共同参画に関する意識啓発をより一層推進することができた。		
事業の評価				
A (順調に取り組んでいる)				
<R1実績> A				
認識した課題		課題解決に向けた対応		
特になし。		今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

017	事業名	教職員への男女共同参画に関する研修会の実施	課所 事業費	指導課	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段		
男女共同参画の視点を踏まえた学校教育が行われるよう、教職員に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			教職員に向けて男女共同参画に関する研修会を行う。		
事業の実施内容と成果					
【実施内容】 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から中止した。					
【活動実績(活動指標)】 研修会参加人数			【取り組みの成果(成果指標)】 参加者の理解度		
<目標> 45 人 <実績> - 人			<目標> 100 % <実績> - %		
達成度 1 (未実施)			達成度 1 (未実施)		
事業の評価					
- (評価困難) 研修会を実施できなかったため、「評価困難」とした。					
<R1実績> A					
認識した課題			課題解決に向けた対応		
新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも実施することができる体制の整備が十分ではなかった。			新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも実施できるような方法を模索していく。		

018	事業名	家庭における固定的な役割分担意識の解消に関する講座の開催	課所 事業費	男女共同参画支援センター	25,000円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段		
家庭において保護者に子どもが小さいうちから男女共同参画の視点に基づいた関わりを持つことの必要性を認識してもらう。			保護者に向けて、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てなど、男女共同参画の視点を踏まえた家庭教育に関する講座を開催する。		
事業の実施内容と成果					
【実施内容】 未就学児の保護者と妊娠中の方を対象に、スウェーデンの子育てや子どもの人権を尊重し、長期的な視野に基づく子育てをめざす「ポジティブ・ディシプリン」の考え方を軸に、固定的性別役割分担意識にとらわれない子育てについて学ぶ講座を実施した。10/10「がんばりすぎない子育て～心を軽くする子どもとの関わり方～」					
【活動実績(活動指標)】 参加率			【取り組みの成果(成果指標)】 満足度		
<目標> 80 % <実績> 100 %			<目標> 80 % <実績> 82 %		
達成度 5 (十分に達成できた)			達成度 5 (十分に達成できた)		
参加人数:10組・11人(女性10人、男性1人) 募集人数:8組			「子どもと気質が合わず、子育てにストレスを感じていたので、具体的な分析手法やポジティブ・ディシプリンの使い方を知り参考になった」「日々モヤモヤしながら子育てをして気持ちが晴れない日が多いが、今日お話を聞いて気持ちが楽になった」などの感想があった。		
事業の評価					
A (順調に取り組んでいる) ポジティブ・ディシプリンの学びの前段として、男女共同参画に関する基礎知識を学ぶミニ講座の時間も加えた。子どもとの関わり方だけでなく、性別による固定的な役割分担意識から母親が子育てをひとりで抱え悩むことなく、パートナーの子育てへの積極的な参画を促す必要性についても伝えることができた。					
<R1実績> A					
認識した課題			課題解決に向けた対応		
特になし。			今後も適切に事業を実施する。		

基本目標 1 男女共同参画社会を実現するための意識づくり
 施策の方針 2 男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進
 取り組みの方向 (1) 学校等における男女共同参画の視点を踏まえた教育の推進

【数値目標が設定されている場合の達成度】
 (※数値目標がない場合は、その達成度とした理由が備考欄に記入されています)
 5(十分に達成できた): 目標値の100%以上
 4(概ね達成できた): 目標値の80%以上100%未満
 3(達成まで今一步): 目標値の60%以上80%未満
 2(達成は不十分): 目標値の60%未満

019	事業名	キャリア教育の推進	課所 事業費	指導課	0円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段		
児童生徒に、性別による固定的役割分担にとらわれないキャリア形成ができるよう、男女共同参画に関する意識啓発を図る。			キャリア教育を実践するため、中学校では職場体験、小学校では地域の方との交流などを行う。		
事業の実施内容と成果					
【実施内容】 小中学校の総合的な学習の時間・特別活動の授業等における「進路教育・キャリア教育」の推進。令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、職場体験は市内全中学校で中止となったが、身近な大人などに職業インタビューを行ったり、地域で働く方々を学校に講師として招いたりした。また、自分らしい生き方を実現するため、キャリアパスポートを活用した。					
【活動実績(活動指標)】 実践校数 〈目標〉 45 校 〈実績〉 45 校 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 〈目標〉 〈実績〉 達成度 5 (十分に達成できた)		
市内全小中学校で実施。			地域、家庭との連携を図りながら、授業等で「キャリア教育」の推進を図り、児童生徒が自己理解を深め、主体的な進路選択や自己実現につなげた。		
事業の評価					
A (順調に取り組んでいる)					
〈R1実績〉 A					
認識した課題			課題解決に向けた対応		
小中一貫教育を意識した児童生徒の発達段階に即したキャリア教育を推進する必要がある。			市内各中学校区で、地域ごとの特性を活かした進路・キャリア教育をより推進するため、小中学校で良い実践事例を共有するとともに、各校で実践している内容を確認、見直しをしていく。		

020	事業名	若年層に向けた男女共同参画推進条例リーフレットの配付	課所 事業費	人権・男女共同参画推進課	36,767円
男女共同参画の視点からの事業目的			手 段		
できるだけ早いうちから男女共同参画の考え方を意識してもらえよう、若年層に男女共同参画に関する意識啓発、理解促進を図る。			小学6年生全員に市の男女共同参画推進の基本的な考え方である「越谷市男女共同参画推進条例」のリーフレットを配付する。		
事業の実施内容と成果					
【実施内容】 市内の小学校6年生全員に「越谷市男女共同参画推進条例」の子ども向けリーフレットを配付した。					
【活動実績(活動指標)】 条例リーフレットの配付部数 〈目標〉 一部 〈実績〉 3,440 部 達成度 5 (十分に達成できた)			【取り組みの成果(成果指標)】 〈目標〉 〈実績〉 達成度 4 (概ね達成できた)		
小学校6年生及びその学級担任に配付した。			配付時に活用例を記載するとともに、市のホームページから随時ダウンロードを可能にして活用の幅を広げることができた。		
事業の評価					
A (順調に取り組んでいる)					
〈R1実績〉 A					
認識した課題			課題解決に向けた対応		
特になし。			今後も適切に事業を実施する。		